

## 全体目標「がんによる死亡者の減少」の数値について

## ○ 現行計画

## ・ 目標

「平成18年度から平成23年度までの5年間で

75歳未満のがんによる年齢調整死亡率の10%減少」

(人口10万人対。H23 目標は男女計79.2人, 男性107.4人, 女性54.0人)

## ・ 現状

平成21年度には目標を達成していたが, 平成22年度では未達成

(人口10万人対。H22 男女計79.9人, 男性106.7人, 女性55.7人)

## ○ 次期計画

## ・ 目標設定の考え方について

施策全体の効果を計るため, 全体としての数値目標を設定。

指標は, 高齢化の影響を取り除いた精度の高いものとするとともに, 国計画との整合を図るため, 「75歳未満のがんによる年齢調整死亡率」とする。

数値は, 現行計画(4年目)において未達成であるが目標に近づいていること, 基本となる国計画において目標数値の変更がなかったことを参考として, 現行計画と同程度の目標を設定してはどうか。

## ・ 目標(案)

「平成23年度(直近)から平成28年度までの5年間で

75歳未満のがんによる年齢調整死亡率の10%減少」

## ○ 国基本計画(平成24年6月変更)

「平成19年度からの10年間で

75歳未満のがんによる年齢調整死亡率の20%減少(\*)」

\* 20%の内訳について

(1) 平成2(1990)年から平成17(2005)年の年平均1%減の傾向が持続した場合の10年で10%の減少見込みに加え,

(2) がん対策の総合的推進による死亡率の減少の加速(10%)を想定。

## (参考) 75歳未満のがんによる年齢調整死亡率の推移(男女計)

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
広島県	91.6	87.0	85.5	86.2	78.1	79.9	(79.2)					
						現状	H18比 10%減					
全国	92.4	90.0	88.5	87.2	84.4	84.3					(73.9)	
											H17比 20%減	

[出典 国立がん研究センターがん対策情報センター]

※ 広島県のH18数値は確定値で, 計画の数値(88.0)とは誤差が生じている

※ 表の( )は目標数値